

令和4年11月1日
独立行政法人日本スポーツ振興センター
広報室

秩父宮記念スポーツ博物館アウトリーチ展 「TOKYO 1964-2020 ユニフォームでみる東京大会」 大分県別府市で開催

日本スポーツ振興センター(JSC: JAPAN SPORT COUNCIL)では、千葉県市川市に続いて大分県別府市でも、秩父宮記念スポーツ博物館アウトリーチ展を下記のとおり開催します。また、別府会場では、師岡文男氏(上智大学名誉教授)による講演会も開催します(別紙参照)。

秩父宮記念スポーツ博物館・図書館は、日本で唯一の総合スポーツ博物館として長く親しまれてきましたが、国立競技場の建て替えに伴い、2014年から長期休館しています。2022年4月からは千葉県船橋市の倉庫に移転し、再開館(新秩父宮ラグビー場内整備予定)に向けて準備を行っています。休館中にも所蔵資料を広く紹介するため、今回は1964年と2021年に東京で開催された二つのオリンピック、パラリンピックの大会運営に関わる被服資料を中心に展示します。日本代表選手団公式服装をはじめ、聖火リレー走者や大会役員、スタッフなどが着用したユニフォームの変遷をご覧いただき、二つの時代の変化を感じていただければ幸いです。

記

会 期: 2022年11月8日(火)～11月22日(火)
開催時間: 10:00～16:00(最終受付 15:30)
休 催 日: 土・日曜日
観 覧 料: 無料
(太陽ミュージアムの見学には別途入館料が必要です)
会 場: 太陽ミュージアム あせびホール
〒874-0011
大分県別府市大字内かまど1393番2
主 催: 独立行政法人日本スポーツ振興センター
後 援: 公益財団法人日本オリンピック委員会
公益財団法人日本パラスポーツ協会日本
パラリンピック委員会
大分県、別府市
大分県障がい者スポーツ協会
展 示 品: 日本代表選手団公式服装
金・銀・銅メダル等、約35点
協 力: 社会福祉法人太陽の家



別府会場では、講演会も開催します。

◆講演会「映像記録から考える TOKYO1964・2020のレガシーをどう活かすか」

講 師:師岡文男(上智大学名誉教授)
日 時:2022年11月12日(土) 14:00~15:30
会 場:太陽ミュージアム~No Charity, but a Chance!~
参加方法:メールまたは電話で事前申し込みが必要(先着30名)
申 込 先 :太陽の家 講演会係
メー ル :info@taiyonoie.or.jp
電 話 :0977-66-0277
締 切 :11月4日(金)必着
参 加 費 :無料

◆太陽ミュージアム~No Charity, but a Chance!~

日本の「障がい者スポーツの父」と呼ばれる中村裕医師が設立した「太陽の家」の敷地内に、2020年にオープンしました。“No Charity, but a Chance!” を理念に、体験型のミュージアムとして運営されています。パラスポーツの重要な拠点の一つであることから、今回の展覧会に特別にご協力いただき、大分県別府市でも開催することができました。